

第2510地区 第11グループ



2007~2008

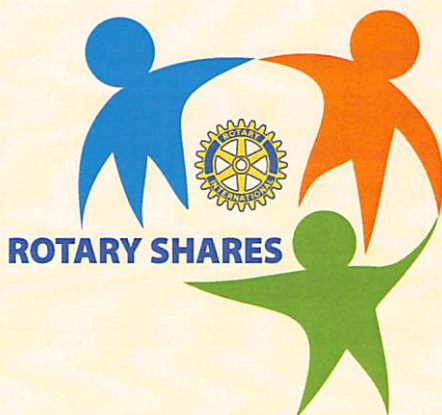
The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2007~08年度
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは
分かちあいの心



2007~08年度
国際ロータリー会長

ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

Wilf. Wilkinson

石橋輝夫 会長 テーマ

—— ゆっくりと、ほどほどに ——



9月12日早朝例会 洞爺丸慰霊碑清掃

《第2121回例会》 第 11 号 9月19日(水)

本日のプログラム

夜間例会「第2回クラブアッセンブリー」

— 小野 孝良 ガバナー補佐を迎えて —

★会 長 石 橋 輝 夫

★幹 事 渡 部 二 康

例会場：函館国際ホテル
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30

〒040-0064 函館市大手町5-10
事務局：函館市大手町5-10 二子ビル4F

TEL23-5151
TEL23-3870

また、水上勉さんの「飢餓海峡」のモチーフがこの事故であり、まんが「うしおととら」に追悼の意が捧げられたエピソードが描かれているそうです。

想像してみました。

1954年9月27日 事故翌日の朝、この時間の海・・・砂浜・・・

慰霊碑は翌年建てられましたが、除幕式の時にはまだ洞爺丸が転覆したままだったそうです。

2003年は50回忌で慰霊祭が執り行われたそうですが、2004年には遺族ら約100人。2006年には僧侶約20人・遺族約30人・・・2年で半減です。そのうち遺族はいなくなるのでしょうか。

鎮魂の祈りを捧げるのは、函館北ロータリークラブ会員のみとなるのでしょうか・・・

今年は東日本フェリーの高速船が就航しましたが、くれぐれも安全にと願わずにはられません。

また、平時における海難事故として最大ということは、戦時はさらに多くの犠牲を見た海難がある事を思うと反戦への誓いを新たにするとともに、災害への備えも心がけねばと思います。

(会報担当者：弗田 和則 委員長)

70年の伝統・実績・信用を誇る
火災共済 山敷火災相互会
 会長 増田 定雄
 〒040-0062 函館市大縄町1番29号
 TEL (0138) 41 - 1730 FAX (0138) 40 - 6406

(広告掲載：増田 定雄 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎ 8月29日出席報告 (増山 正 委員長)

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	21名	当日欠席	9名
他クラブ出席	5名	出席合計	26名
出席率		86.67%	

・テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番

次回・9月26日
プログラム

移動例会「函館ハーフマラソン」

9月30日 9:00～ 給水ボランティア
 12:30～ 大黒屋旅館

9月12日の記録

◎司 会 石橋 輝夫 会長

◎会長報告 石橋 輝夫 会長

○ 9月8日に函館東RCの50周年記念式典が開催され、出席して来ました。

○ 北クラブが永きにわたり行っている今日の社会奉仕活動、朝早くからご苦労様でした。

この公園は南木会員が飯田会長時代に測量を行い、このような公園に整備されております。また、北クラブの創立25周年記念事業として石碑を建立しましたし、北部ローターアクトクラブが何かの折に慰霊碑の案内板を立てるなど、北クラブにとってもゆかりのある場所です。

今日の準備をしていただいた社会奉仕委員長の弗田さんや高田会員ありがとうございます。また、お花を紅乃花やさんから寄付していただいたことを報告いたします。

◎幹事報告 渡部 二康 幹事

○ 七飯RCより観月会を9月25日(火)午後6時30分から大沼プリンスホテルで開催致しますとのご案内が来ております。参加料は6,500円です。参加ご希望の会員は幹事まで。

○ 函館セントラルロータークラブ9月25日の例会は夜間例会に変更です。



◆「洞爺丸台風海難者慰霊碑清掃奉仕にあたって・・・」

社会奉仕委員長 弗田 和則

僕が生まれる3年前の事故です。社会奉仕委員会の委員長になり、初めて調べてみました。

1954年9月26日夜、台風15号（国際名マリー・実際は13番目）は5隻の青函連絡船を沈めました。死者・行方不明者1430人。平時の日本における最大の海難事故となっています。

世界の海難事故としても1912年のタイタニック号沈没（死者1513名）、1865年のサルタナ号火災（推定死者1450人以上）に次ぐ第3の規模といわれるそうです。

14：40出航予定が、船質が劣るため運航を中止した第11青函丸からの乗客・車両の移乗に時間がかかりました市内で断続的に発生していた停電のため可動橋が上がらず、15：10 運行を中止しました。

17：00ごろになって風が収まり晴れ間ものぞくようになり船長が出航の決断をしたとあります。

天気図は各地の測候所からのデータを基に手書きした時代、運航は船長の独断に任されていたそうです。

18：39出航、台風接近 19：01 函館港外に投錨仮泊、50メートルを超える暴風と波浪のため走錨、機関室への浸水、推進器蒸気タービンおよび左舷発電機停止、主機停止も沈没回避で座礁を決意。

22：26 七重浜沖座礁 乗組員は転覆の危険回避と判断したが波浪により右傾斜をましていく・・・青函局は救難本部設置決定、現場に補助汽船を向かわすが波浪で断念。

22：39 SOS発信

22：43頃 左舷錨鎖が切断、転覆

23：15頃 遭難者漂着の報告

遭難者が当時まだ民家がまばらな七重浜ではなく、明かりのともる函館の方向へ泳いだ事、激しい風雨や情報の混乱による救助活動の遅れなどが犠牲者を増したと伝えられています。

「海峡の女王」と呼ばれた船は生存者を救助した函館の病院に向かう途中の派出所に立ち寄り「洞爺丸が沈没した」と訴えても、巡査が信じようとしなかったそうです。

この事故をきっかけに、連絡船の運航は船長と青函局指令との合議制になり、車両積載口への水密扉の設置、復元性の向上、車両甲板下の旅客区画の廃止等の安全性の強化がなされ、1988年3月13日、無事故で終航しました。

また、青函トンネル構想が急速に具体化されることになった原因ともされます。

10年後の1964年、函館北ロータリークラブ誕生の年に富士山レーダーが完成することにより、台風の進路や規模の把握がずっと容易になります。

同時に当クラブは清掃奉仕を始め、毎年続け・・・

創立25周年を迎えた1988年公園化を諸官公庁に働きかけ、記念碑を建立したことは、会員皆様の周知のことです。

この慰霊碑が洞爺丸での犠牲者だけではなく同じ台風により沈没した、日高丸・第11青函丸・十勝丸・北見丸の犠牲者を含めての慰霊碑なのだと知りました。

慰霊碑の裏、海側の石碑に沈没地点方角が示されています。

奇遇にも函館と姉妹都市提携を結んでいるカナダのハリファックス市には、タイタニック号沈没事故の身元不明の遺体が埋葬された共同墓地が存在するそうです。